

恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業

審 査 講 評

令和5年9月

恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業
公募型プロポーザル審査委員会

審査講評 目次

第1章 事業概要	1
第2章 審査方法等	3
第3章 最優秀提案者の選定	9
第4章 講評	12

第1章 事業概要

1. 事業名

恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業

2. 業務実施場所

北海道恵庭市中島松 456-5、69-4、460-1 の内、549-2、459 の内、461-1、68-5、83-8 の内、83-3 の内、461-4、461-3、68-3、551-2

3. 対象施設

本事業の対象施設の概要は、次のとおりである。

<対象施設の概要>

項目	概要	
施設稼働年月	令和2年3月	
敷地面積	28,017.74m ²	
建築面積	工場棟：2,281.61m ² 、計量棟：123.48m ²	
延床面積	工場棟：4,204.38m ² 、計量棟：123.48m ²	
建築仕様	鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造）	
施設規模	56 t / 日（28 t / 日 × 2 炉）	
設備方式	受入供給設備	ピットアンドクレーン方式
	燃焼設備	全連続燃焼式ストーカ炉
	燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ方式
	排ガス処理設備	ろ過式集じん方式
	通風設備	平衡通風方式
	余熱利用設備	発電（200kW）、場内利用、隣接施設利用
	給水設備	生活用：上水、プラント用：井水
	排水処理設備	プラント排水：クローズドシステム、生活排水：下水終末処理場で処理
	飛灰処理設備	薬剤処理方式
	電気設備	高圧受電方式
	計装設備	分散型制御システム
余熱利用方法	本施設で発生する蒸気は、発電に利用するとともに本施設の給湯・暖房・ロードヒーティングの熱源として使用するほか、生ごみ・し尿処理場の暖房用として使用する。また、下水終末処理場の暖房・給湯用、消化槽加温用、汚泥乾燥施設の汚泥乾燥用として使用する。	
その他	下水汚泥乾燥施設で発生する臭気は本施設の燃焼用空気として使用する。	

4. 事業内容

事業者は、本施設の基本性能を常時適切に発揮させ、搬入されるごみを適正（安定的、経済的、衛生的かつ安全）に処理するとともに、事業者の提案による創意工夫のもと、サービスの水準を確保しつつ効率的かつ施設の長寿命化に配慮した運転維持管理を行うものとする。

5. 業務期間

① 運営準備期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

② 運営期間

令和6年4月1日から令和21年3月31日まで（15年間）

6. 事業者の業務範囲

- ① 運転管理業務
- ② 維持管理業務
- ③ 環境管理業務
- ④ 防災管理業務
- ⑤ 情報管理業務
- ⑥ その他関連業務

第2章 審査方法等

1. 最優秀提案者の選定方法

優先交渉権者決定基準に従い、恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において提案書類を評価・審査し、最優秀提案者を選定する。応募者の提出した提案書類について、評価項目ごとに評価に応じた得点を付与し、基準点以上かつ得点の合計の最も高い者を最優秀提案者として選定する。なお、基準点は総合得点 65 点とする。

2. 最優秀提案者選定の経過

最優秀提案者選定の経過は、次のとおりである。

<最優秀提案者選定の経過>

	項目	日付
1	募集要項、様式集、要求水準書、優先交渉権者決定基準、基本協定書(案)、事業契約書(案)の公表	令和5年4月17日(月)
2	募集要項等に関する質問の受付(第1回)	令和5年4月17日(月)～4月28日(金)
3	募集要項等に関する質問の回答(第1回)	令和5年5月19日(金)
4	資格審査申請書類の受付	令和5年5月22日(月)～5月29日(月)
5	参加資格審査結果の通知	令和5年6月8日(木)
6	募集要項等に関する質問の受付(第2回)	令和5年6月9日(金)～6月23日(金)
7	募集要項等に関する質問の回答(第2回)	令和5年7月7日(金)
8	提案書類の提出	令和5年7月18日(火)～7月21日(金)
9	最優秀提案者の選定	令和5年9月8日(金)

3. 審査委員会の設置

提案書類の審査は、公正性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、審査委員会において行った。審査委員会の委員は、次のとおりである。

- | | |
|-------------------------|-------|
| ・ 恵庭市廃棄物減量等推進審議会会長 | 村井 公裕 |
| ・ 室蘭工業大学大学院工学研究科准教授 | 吉田 英樹 |
| ・ 公益社団法人全国都市清掃会議技術指導部長 | 濱田 雅巳 |
| ・ 公益社団法人北海道産業資源循環協会専務理事 | 松永 芳明 |
| ・ 恵庭市水道部長 | 小林 勉 |

4. 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、次のとおりである。

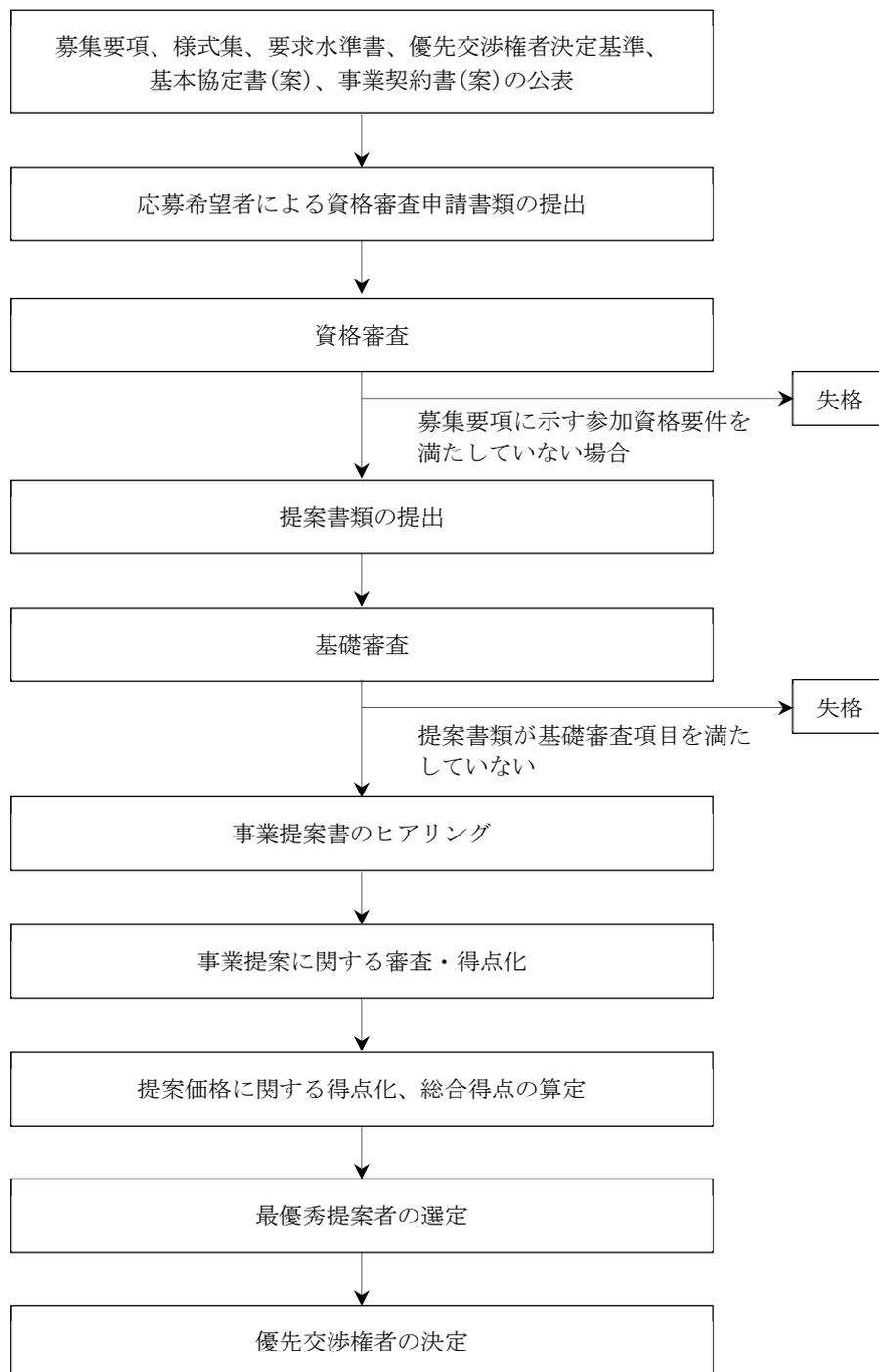
<審査委員会の開催経過>

日付	内容
令和4年12月6日(水)	第1回審査委員会 ① 恵庭市焼却施設の概要について ② 事業者選定スケジュールについて ③ 実施方針(案)について ④ 募集要項(案)について ⑤ 要求水準書(案)について ⑥ 優先交渉権者決定基準(案)について
令和5年3月7日(火)	第2回審査委員会 ① 第1回審査委員会における質疑・意見への対応 ② 現在の焼却施設運転管理上の課題 ③ 募集要項(案)について ④ 様式集(案)について ⑤ 要求水準書(案)について ⑥ 優先交渉権者決定基準(案)について ⑦ 基本協定書(案)について ⑧ 事業契約書(案)
令和5年9月8日(金)	第3回審査委員会 ① 資格・基礎審査結果の報告 ② 事業者選定基準について ③ 事業提案書に関するヒアリング ④ 事業提案審査 ⑤ 提案価格審査 ⑥ 審査結果 ⑦ 審査講評(案)

5. 優先交渉権者決定の手順

優先交渉権者決定の手順は、次のとおりである。

< 優先交渉権者決定の手順 >



6. 審査手順

(1) 資格審査

恵庭市は、応募希望者から提出された資格審査申請書類について、募集要項に記載した応募希望者の参加資格要件を満たしているかを確認し、審査結果を応募希望者の代表企業に対し通知する。

(2) 基礎審査

恵庭市は、応募者から提出された提案書類が、優先交渉権者決定基準に記載した基礎審査を満たしていることを確認し、審査結果を応募者の代表企業に対し通知する。

(3) 事業提案書のヒアリング

審査委員会は、基礎審査を通過した応募者に対し、事業提案内容の確認等を目的として提案内容に関するヒアリングを実施する。ヒアリングは、応募者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

(4) 事業提案の得点化

審査委員会は、次項に従い、事業提案の得点化を行う。

7. 事業提案の得点化

(1) 得点化方法

① 各評価項目について、次に示す5段階評価により得点化する。

評価	評価基準	得点化方法
A	非常に優れている	評価項目の配点×1.00
B	AとCの中間程度	評価項目の配点×0.75
C	優れている	評価項目の配点×0.50
D	CとEの中間程度	評価項目の配点×0.25
E	要求水準程度である	評価項目の配点×0.00

② 各評価項目の得点は、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、少数第3位を四捨五入した値とする。

③ ②の結果をもとに応募者の合計得点を算出する。

(2) 評価項目及び配点

評価項目及び配点は、次のとおりとする。

No	評価項目	評価基準	配点	
1	運転維持管理体制 (6点)	組織体制	・本事業の組織体制及び運転管理体制において、構成企業の役割分担や人員体制等について適切な提案がなされているか。	3
		技術者の配置	・実務経験のある技術責任者等の配置について優れた提案がなされているか。	3
2	運転管理 (13点)	ごみ量・ごみ質の変動への対応	・ごみ量及びごみ質の変動に対する具体的対応策が提案されているか。(高カロリーごみへの対応、生ごみ等の受け入れ時の対応等)	5
		公害の防止	・公害防止基準の遵守、ダイオキシン類の排出抑制に向けて、運転基準値の設定や運転方法について、適切な運転管理が行える内容となっているか。	5
		搬入管理	・搬入されるごみの受付、案内・指示等が適切に行え、処理不適合物の除去、分別管理等の対応策に対する提案がなされているか	3
3	維持管理 (13点)	施設の機能維持	・安全かつ安定的なごみ処理を維持していくための適切な維持管理計画について適切な基準や実施時期等の提案がなされているか。	5
		施設の長寿命化	・施設の長寿命化が期待できる維持管理計画の提案がなされているか。	5
		調達計画	・不足な事態が発生した場合でも、適正に施設が稼働できる適切な提案がなされているか。	3
4	経営計画・事業収支計画 (5点)	事業の継続性	・資金調達や財政支援など、業務期間における安定した事業継続に向けた適切な提案がなされているか。	5
5	リスク管理 (15点)	リスク管理体制	・災害時や新型コロナウイルス等の感染拡大時における業務継続体制について適切な提案がなされているか。	5
		リスクへの対処方法	・想定されるリスク及びその対処方法についての確かな提案がなされているか。	5
		セルフモニタリング	・セルフモニタリングの実施内容と頻度について、適切な提案がなされているか	5
6	循環型社会貢献 (8点)	エネルギー供給	・共通停止期間の短縮など熱エネルギーの安定的供給について適切な提案がなされているか。	3
		省資源化・省エネルギー化	・省資源化・省エネルギー化、カーボンニュートラルの推進などに関する優れた提案がなされているか。	5
7	地域振興 (10点)	地元の活用	・地元企業や地元人材の活用について、市内在住者の割合の明示など積極的な提案がなされているか。また、発注確認のための具体的なチェックシステムが提案されているか。	5
		地域住民への配慮	・運転状況の公表や環境対策など地域住民への配慮について適切な提案がなされているか。	5

※地元企業とは、恵庭市に本店を有する企業をいう。

※地元人材の活用とは、恵庭市民の雇用等をいう。

8. 提案価格の得点化

提案価格について、次の算定式により得点化する。なお、得点は小数点第3位を四捨五入した値とする。

$$\text{得点} = \text{配点 30 点} \times \frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}}$$

9. 総合得点

事業提案の得点と提案価格の得点を合計して総合得点とする。

10. 応募者が1者の場合の審査

応募者が1者の場合も審査を行い、総合得点が65点以上の場合には最優秀提案者として選定する。

第3章 最優秀提案者の選定

1. 応募者

応募者は、次の1グループである。

- ・代表企業 エスエヌ環境テクノロジー株式会社
- ・協力企業 株式会社道央環境センター

2. 応募者の得点

上記応募者の得点を以下に示す。

(1) 事業提案の得点

事業提案の得点は、次のとおり 37.05 点であった。

<事業提案の得点>

No	評価項目	配点	得点	
1	運転維持管理体制 (6点)	組織体制	3	1.20
		技術者の配置	3	1.50
2	運転管理 (13点)	ごみ量・ごみ質の変動への対応	5	2.50
		公害の防止	5	2.75
		搬入管理	3	1.50
3	維持管理 (13点)	施設の機能維持	5	2.75
		施設の長寿命化	5	2.50
		調達計画	3	1.80
4	経営計画・事業収支計画 (5点)	事業の継続性	5	3.00
5	リスク管理 (15点)	リスク管理体制	5	3.25
		リスクへの対処方法	5	2.75
		セルフモニタリング	5	2.75
6	循環型社会貢献 (8点)	エネルギー供給	3	1.05
		省資源化・省エネルギー化	5	2.75
7	地域振興 (10点)	地元の活用	5	2.75
		地域住民への配慮	5	2.25
合計		70	37.05	

＜事業提案に関する事項の講評＞

No	評価項目	講評
1	運転維持管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの運転実績に基づく計画となっている。 ・実務経験のある人員を配置する計画となっている。
2	運転管理	<ul style="list-style-type: none"> ・各運転基準に基づく段階的な対応が図れるよう工夫されている。 ・ごみ量とごみ質の変動に対するリスク分析がなされている。 ・搬入時のヒアリングや目視確認による不適物混入防止を図る提案となっている。
3	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な運転維持管理計画が提案されている。 ・他施設との連携による柔軟な調達が可能提案となっている。
4	経営計画・事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業の実績が豊富であり、財政的な面からも安定した事業継続が見込まれる。
5	リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時における具体的な運転体制が示された確実性の高い提案となっている。 ・災害等の発生確率と影響の大きさを考慮したリスク分析がなされている。
6	循環型社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な蒸気供給への配慮などエネルギー利用に向けた具体的な提案がなされている。 ・焼却量に応じた焼却炉立上げ・立下げ回数の最適化による二酸化炭素排出量削減の提案がなされている。
7	地域振興	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な地元活用計画が示されており、確実な目標達成が期待できる。 ・地元人材の採用、ダイバーシティへの対応が期待できる。 ・地域への情報発信を積極的に行う計画となっている。

(2) 提案価格の得点

提案価格の得点は、次のとおり 30.00 点であった。

＜提案価格の得点＞

事業費限度額（税抜）	7,708,050,000 円
提案価格（税抜）	7,707,999,600 円
配点	30
提案価格得点	30.00

(3) 総合得点

事業提案の得点と提案価格の得点の合計得点は、次のとおり 67.05 点であった。

<総合得点>

事業提案得点 (1) 配点：70 点	37.05
提案価格得点 (2) 配点：30 点	30.00
総合得点 (1) + (2) 配点：100 点	67.05

3. 最優秀提案者の選定

エスエヌ環境テクノロジー株式会社を代表企業、株式会社道央環境センターを協力企業とする応募グループを最優秀提案者として選定する。

第4章 講評

恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業は、恵庭市焼却施設の基本性能を常時適切に発揮させ、搬入されるごみを安定的、経済的、衛生的かつ安全に処理するとともに、事業者の提案による創意工夫のもと、サービスの水準を確保しつつ効率的かつ施設の長寿命化に配慮した15年間の運転維持管理を行うものである。

本事業では1グループから応募を受け、提案内容は本事業の目的や内容を理解したものであり、恵庭市が要求する水準を上回る提案内容であった。

業務内容が多岐にわたることから提案に係る時間と労力が多大であったと想定される中、短時間で提案書類を取りまとめた応募者の熱意と技術力に敬意を表するとともに深く感謝する。

審査委員会では、優先交渉権者決定基準に従い、厳正かつ公平に審査を行った結果、エスエヌ環境テクノロジー株式会社を代表企業、株式会社道央環境センターを協力企業とする応募グループ（以下「応募グループ」という。）を最優秀提案者として選定した。

審査委員会は、応募グループに対し、業務の実施にあたっては提案内容の確実な履行に努めるとともに、下記の事項については恵庭市と協働のもと、相互に十分な協議を行うとともに真摯な対応に努め、今後15年間の安定した管理運営と質の高い廃棄物処理サービスの提供を期待する。

1. 施設に搬入される多種多様なごみを安定的に処理するために必要な事項について、情報を共有し、恵庭市と協力して対応すること。
2. 近隣施設の運営に大きな影響を与える共通停止日数を極力減らし、ごみ処理のみならず、下水道事業の円滑化やエネルギー供給安定化のさらなる向上を図ること。
3. 施設の運転データ等については、施設の安定稼働の基礎資料としての利用を前提として、技術開発等への活用については事前に取り決めを行うこと。
4. 企業や地元人材の活用については、提案内容の確実な履行にとどまらず、さらなる拡大を図ること。
5. 施設の運営にあたっては、安定稼働の確保に向けた取組を確実にを行うとともに、ごみ処理に関する情報を広く公開することにより、地域住民の理解と安心・安全が確保できるよう努めること。

令和5年9月26日

恵庭市焼却施設長期包括的管理運営事業公募型プロポーザル審査委員会
委員長 村井 公裕